

令和5年度幼稚園評価の結果報告

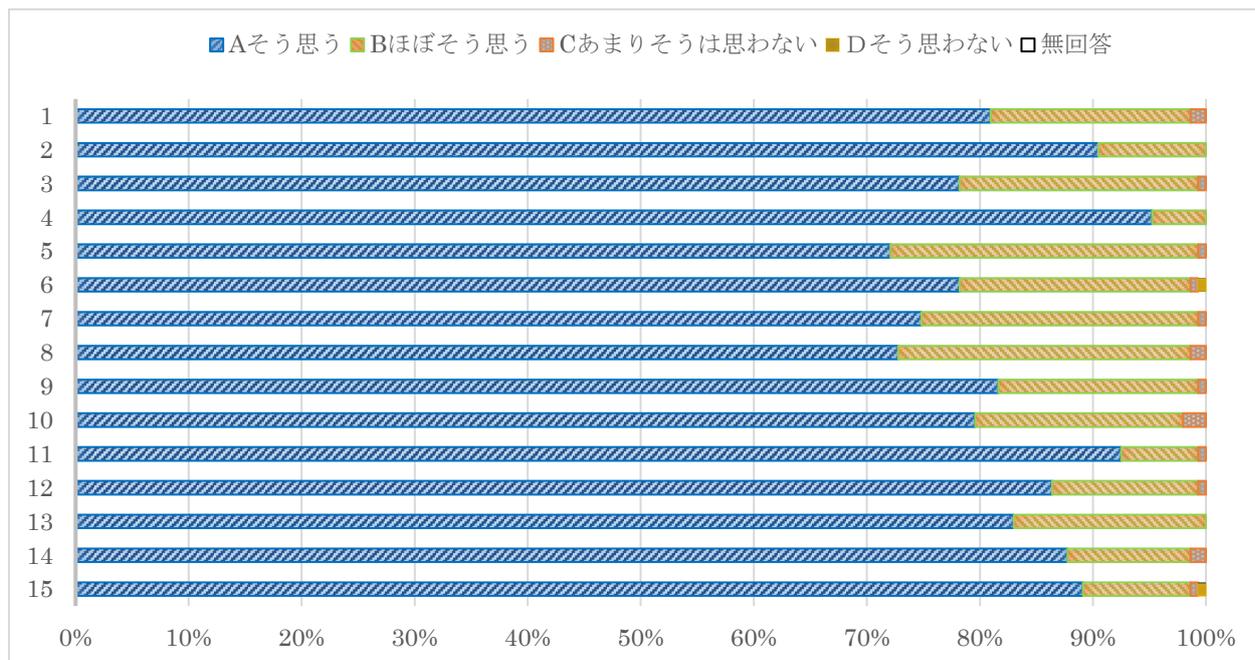
越谷くるみ幼稚園 令和6年2月14日

令和5年度の学校評価として、年末に保護者の皆さまに学校関係者評価と教職員に自己評価を実施しました。保護者の皆様へは今回、連絡アプリによるアンケート調査を行いました。その結果、回収率も非常に高く、多くの貴重なご意見をいただきました。協力いただきました保護者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

これからのより良い保育、幼稚園活動の質の向上に向けての具体的な方策に結び付けていきます。

(園長 岩城悟)

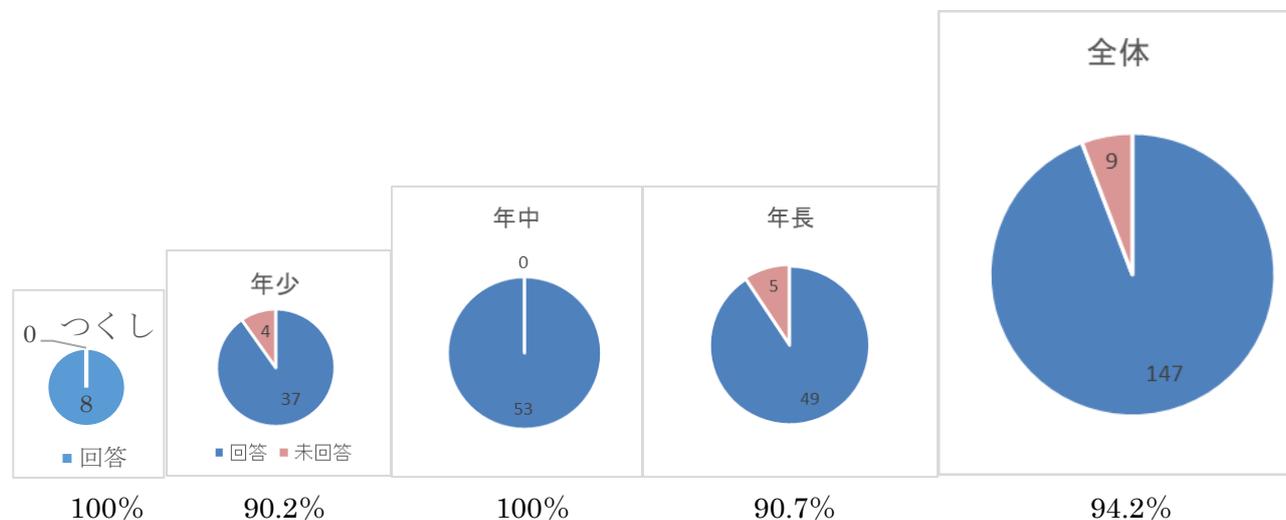
1. アンケート結果集計



1. お子さまは幼稚園で園生活を楽しんでいると思われませんか？
2. お子さまは園生活、行事等で的確に成長していると思われませんか？
3. 幼稚園は、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えてありますか？(入園説明会や学年だより、インターネットなどで)
4. 幼稚園は、くるみガーデンでの収穫体験等で子どもの食に対する関心を育てていますが、良いと思われませんか？
5. 幼稚園では、子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育を行っていると思われませんか？
6. 幼稚園では、遊びを中心とした体験を通して子どもの豊かな学びを促す指導をしていると思われませんか？
7. 幼稚園は、他人を思いやる心、生命を大切にする心、きまりを守ろうとする心といった「心を育てる」教育活動を行っていると思われませんか？
8. 幼稚園は、子どもをよく理解し、園児一人ひとりの性格や個性等に配慮した保育を行っていると思われませんか？
9. 幼稚園では、門の開閉時に名札の確認を行い、防犯カメラを設置し、子どもの安全が守られるよう努めていますが、適切だと思われませんか？
10. 幼稚園は、子どもがけがをした時や問題が起きた時等、丁寧に分かりやすく状況を伝えてありますか？
11. 幼稚園は、野菜の収穫、すいかわり、おもちつき、節分等保護者参加でない行事や日常生活の写真販売を行っていますが、良いと思われませんか？
12. 幼稚園は、行事などの情報を「れんらくアプリ」「掲示板」「バス乗車口の掲示」などできちんと保護者に伝えてありますか？
13. 幼稚園は、保護者と定期的に話し合いの場(保護者参観・面談など)を設けていますが、適切だと思われませんか？
14. 幼稚園は、子育て支援(預かり保育・園庭開放等)を行っていますが、適切だと思われませんか？
15. 幼稚園では、お子さまの成長のために専任講師による英語・体操・サッカー・チアダンスなどの課外教室を行っていますが、良いと思われませんか？

2. アンケート回答率 平均 94% (147/156)

今回のアンケートはクラス毎ではなく保護者数に対してとなっており、156 世帯中 147 名の方にご回答いただきました。回答率は 94%と昨年の 97%からは下がりましたが、90%台の結果となりました。今回は年少、年長は 90%でしたが、つくし組と年中は 100%の回答をいただきました。コメントで多くのご意見をいただきましたので、園の今後に繋げていきたいと思っております。アンケートにご協力いただきありがとうございました。



3. アンケート内容と結果

アンケート全ての項目で「A そう思う」、「B ほぼそう思う」、は 99%でした。そして、「D そうは思わない」は 2 件、年中で 6。「遊びを中心とした体験」とあるが、「運動会や発表会の練習が多く、もっと自由に遊ぶ機会を増やしてほしい」というご意見をいただきました。もう 1 件は年長から 15。「外部講師による指導」ですが、体操教室は子どもは楽しく通っているが「技術の向上が期待できない」と言う意見でした。また、「C あまりそうは思わない」は 17 件(年少 4 件、年中 8 件、年長 5 件)で、前年からは大きく減少しました。

個別に見ていくと、総合で最も評価の高かったのは、4.「くるみガーデンによる収穫体験」でした。次は 11.「保護者参加でない行事や日常生活の写真販売」で、その次は 2.「園生活、行事等での確に成長している」でした。この他全 3 項目で A・B が 100%でした。特に4.は B が 7 件でほとんどが A でした。一方、評価の低かった項目は、5.「発達段階や興味・関心に応じた保育」と、8.「性格や個性等に配慮した保育」が同率でした。C. が 6 件と最も多かったのが 10.「けがや問題が起きた時の連絡」でした。多くの保護者の方からは「こまめに連絡をいただき」と言うお言葉もいただいておりますが、まだまだ伝達が足りないのではと周知徹底を図りたいと思っております。

今回のアンケートではご意見・ご要望の他に「くるみ幼稚園の魅力」をお聞きしました。その中で多かったのが「明るくのびのび元気な子」という教育方針通りに、子どもたちが園生活を楽しむ中でも礼儀や規律も学んでいる、というご意見でした。また、「先生」に対するコメントも多く、「先生が明るく元気」「先生が優しい」「先生が一人一人の個性に合わせた保育をしている」「先生が話しやすい」等々のお言葉をいただきました。くるみガーデンや預かり保育、課外教室につきましても好評価をいただきました。今後もより良い保育に励んでいきたいと思っております。

4. 最後に

今年度卒園される園児の皆さんは入園時から 2 年間はコロナ禍で過ごし、マスクに黙食、そして歌の制限やピアノの制限等もありました。園では感染防止対策を行いつつ「子どもの成長が一番」と行事等を極力行ってきました。皆さん立派に成長してくれて嬉しく思っております。アンケートによる貴重なご意見、ご指摘につきましては職員一同、それらを真摯に受け止め今後の保育活動に生かしていきたいと思っております。

令和5年度 教員自己評価アンケート結果

越谷くすみ幼稚園

学校評価における教員自己評価アンケートは学校教育法により実施が義務とされています。学校評価には他に、先に実施した保護者などによる学校関係者評価と、外部の専門家による第三者評価(これは義務ではない)があります。学校評価を行うことにより園の目指すべき目標を明確にし、改善を加えていくことでより良い園として継続していくことを目的とします。また、個々のモチベーションの向上につなげてより良い保育を目指します。

<教育目標>

- ・明るくのびのび元気な子
- ・自分で工夫し すすんで遊ぶ子
- ・決まりを守って がんばる子
- ・仲良く やさしく 思いやりのある子

<教育方針>

- ・一人ひとりの個性を大切に保育
- ・自主自立を育む保育
- ・生活習慣や決まりを身につける保育
- ・表現する楽しさや喜びを味わう保育

A.そう思う B.ほぼそう思う C.一部検討を要する D.改善を要する

項目	内容	評価	達成状況・意見・改善策
Ⅰ 教育目標・指導計画	① 園の教育理念や教育方針を理解している。	A	B ・子どもの様子を見て学年で話し合い行うことや難易度を調整した。見直すことは大切と感じた。 ・子どもたちの体の使い方、手先の器用さなどで、出来ない事が多くなったと感じる。子どもたちに合った、受け身でない、主体的なカリキュラムの見直しが必要と感じた。 ・「のびのび」や「自分で工夫」の部分は実施できていないと感じるところがある。
	② 教育目標の具体化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	B	
	③ 園の教育目標は、幼稚園教育要領の内容に沿ったものになっていると言える。	A	
	④ 子どもたちの年齢ごとの教育課程・指導計画がある。	A	
	⑤ 幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を意識して保育を行っている。	A	
Ⅱ 教育環境	① 幼児のしたいことや、興味のあることを取り入れるようにしている。	A	B ・もっと自然に触れる保育ができれば良い。 ・野菜の成長過程等を見られるよう、くすみガーデンに子どもたちが自由に入れると良い。 ・椅子に座っての活動が多く、もっと子どもの興味を取り入れたり、自由な制作の場が欲しい。 ・運動会や発表会を子ども主体の発表の場となるよう工夫したい。
	② 幼児の思いや言動を参考にしながら、保育室の装飾や展示を考えている。	A	
	③ 幼児の教育に、園や地域の自然や施設を活用し、体験を取り入れるようにしている。	B	
	④ 登園時の視診等の日常の健康観察や、家庭との連携、疾病予防への取り組み、健康診断が行われている。	A	
	⑤ 地震や火災などの災害、不審者の侵入に対し園児の安全が守られるよう努力している。	A	
Ⅲ 教育の内容・方法	① 教育内容や方法は、園の教育方針を基にして作られている。	A	A ・クラス単位でルールのある遊びやゲームができると良い。 ・自由時間に廃材を使った制作など自由な遊びや、自然を取り入れた遊びを行った。 ・家庭の様子を伺い、保護者と一緒に子どもの気になる点について見ていくことができた。 ・食育に力を入れているが、なかなか食べ進まない子も多く、工夫して関心をもってもらいたい。
	② 幼児の家庭での様子を参考にしながら、援助の内容を工夫している。	A	
	③ 遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている。	A	
	④ 幼児が意欲的に造形活動(描画・制作)をする時間を大切にしている。	A	
	⑤ 食べ物についての話を園児に食の興味を促している。	A	

項目	内 容		評価	達成状況・意見・改善策
IV 教師の役割・資質向上	①	子どもの発達や興味・関心に応じた保育を心がけている。	A	A ・廃材などを利用し、自由な発想で遊べる工作の時間を設けている。 ・保護者との信頼関係を築くため、こまめに子どもの様子を積極的に伝えるようにしている。 ・保護者の求めることに対応するのが難しいとが多くなった。 ・子どもの手本になる様、丁寧な言葉使いを心掛けている。
	②	すべての幼児に平等に接するように心がけている。	A	
	③	相手の思いを受け止め、豊かな人間関係をつくることのできる子どもを育てるための指導を行っている。	A	
	④	その場にふさわしい言葉遣いができる。	A	
	⑤	保護者との信頼関係ができている。	A	
V 特別支援者との連携	①	特別な支援を必要とする園児について、教職員で共通理解をはかり、支援体制を整えている。	A	A ・特別な支援を必要とする園児が増えているので、療育や保護者と連携を取って関わっていく。 ・バス通園の子どもへの保護者に対しては電話で子どもの様子を伝えている。 ・研修で「保護者に持たせるのは危機感ではなく希望」と学び、保護者の気持ちを考えて支援を行う。 ・丁寧な対応を心がけ、保護者の信頼を得られるようにしている。
	②	特別な支援を必要とする園児について、医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られている。	A	
	③	保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応している。	A	
	④	行事予定など、保護者を対象とした幼稚園の情報は学年だよりなどで適切に伝えることができている。	A	
	⑤	幼稚園行事に協力してくれている保護者に対し、お礼や感謝の意を伝えている。	A	
VI 子育て支援	①	保護者の子育てについての相談にのっている。	A	A ・子育て講座は、自由参加なので受講してもらいたい人に受講してもらえない。個別に参加を依頼しても良いのでは。 ・預かりの利用者が増加しているので玩具などを見直し、保育環境の整備を行う。 ・バス通園の保護者に対してバスキャッチのメール機能を活用しては。
	②	園庭開放は保育や保護者との関係に有効と思う。	A	
	③	子育てについて、子育て講座等で保護者に十分な情報提供を行っている。	A	
	④	未就園児の親子教室は適切に行なわれている。	A	
	⑤	預かり保育は保護者の要望に応じた内容で実施されている。	A	
VII 地域関係	①	地域の人々と親しく挨拶ができる。	A	A ・地域の人には笑顔で挨拶をする。 ・挨拶や清掃で気持ちよく過ごせるようにしたい。 ・小さい事でも教職員同士で伝え合い、把握したうえで対応する。 ・気付いたことは改善につなげる。
	②	園周辺の整備、清掃を適時行っている。	A	
	③	園児の状況や園務にかかわる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。	A	
	④	業務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って積極的に取り組んでいる。	A	
VIII 運営管理	①	園児や保護者のことを園の外で話題にしない。	A	B ・個人情報の管理に注意を払う。席を立つときは見られないようにする。 ・遊具や園庭の安全点検を増やした方が良い。 ・サッカーゴールが欲しい。→コールはあるので使用するか検討する。 ・意見があれば直接伝えて欲しい。 ・ハラスメントの相談窓口は複数欲しい。
	②	現金の管理は間違いのないように行っている。	A	
	③	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	A	
	④	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	A	
	⑤	ハラスメントを感じたことがある。 (Aない・Bほとんどない・C少しある・Dある)	B	